

事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業				担当	健康福祉部 子ども家庭課 子育て支援係			
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)				
施策名	1	子育て支援の充実							
関連個別計画	真岡市子ども・子育て支援事業計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 昭和49 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
法令根拠	栃木県ひとり親家庭医療費補助金交付要領 真岡市ひとり親家庭医療費助成条例及び施行規則								
予算科目	1.一般会計	3.民生費	2.児童福祉費	3母子福祉費					
予算科目									
予算科目									
事業概要	ひとり親家庭の親と子に対し、医療費の一部を助成することにより、その心身の健康の向上を図り、ひとり親家庭の福祉を増進することを目的とする。 【事業主体】市 (県単補助事業 県1/2) 【対象】ひとり親家庭の親と子 (子が18歳に到達した年度末まで) 母子家庭及び父子家庭の親と子、父母のない児童を養育している配偶者のいない養育者と子、配偶者のいない者以外の者に扶養されている子。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移																																																
3年度実績		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>30 年度(実績)</th> <th>31 年度(実績)</th> <th>2 年度(実績)</th> <th>3 年度(実績)</th> <th>4 年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 利用世帯数</td> <td>世帯</td> <td>397</td> <td>406</td> <td>384</td> <td>370</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>イ 助成金額</td> <td>千円</td> <td>15,338</td> <td>15,178</td> <td>14,683</td> <td>16,884</td> <td>15,600</td> </tr> <tr> <td>ウ 助成件数</td> <td>件</td> <td>6,097</td> <td>5,788</td> <td>5,806</td> <td>5,901</td> <td>5,800</td> </tr> <tr> <td>エ 一件当たり助成費 (助成金額 ÷ 助成件数)</td> <td>円</td> <td>2,515</td> <td>2,622</td> <td>2,528</td> <td>2,861</td> <td>2,690</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)	ア 利用世帯数	世帯	397	406	384	370	390	イ 助成金額	千円	15,338	15,178	14,683	16,884	15,600	ウ 助成件数	件	6,097	5,788	5,806	5,901	5,800	エ 一件当たり助成費 (助成金額 ÷ 助成件数)	円	2,515	2,622	2,528	2,861	2,690	オ						
名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)																																												
ア 利用世帯数	世帯	397	406	384	370	390																																												
イ 助成金額	千円	15,338	15,178	14,683	16,884	15,600																																												
ウ 助成件数	件	6,097	5,788	5,806	5,901	5,800																																												
エ 一件当たり助成費 (助成金額 ÷ 助成件数)	円	2,515	2,622	2,528	2,861	2,690																																												
オ																																																		
・ひとり親家庭医療受給者証交付申請書の提出 (受給資格者) (市) ・審査、調査、資格者証交付 (市) (受給資格者) ・資格者証提示、受診、支払 (受給資格者) (医療機関) ・月別、医療機関別、人別に保険診療証明書の交付を受ける (医療機関) (受給資格者) ・ひとり親家庭医療助成申請書の提出 (受給資格者) (市) ・審査、申請翌月25日払 (市) (受給資格者) 令和3年度より制度拡充し、自己負担分500円廃止した。																																																		
4年度計画 令和3年度と同様																																																		
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移																																																
ひとり親家庭の親と子 (子が18歳に到達した年度末まで) (母子家庭及び父子家庭の親と子、父母のない児童を養育している配偶者のいない養育者と子、配偶者のいない者以外の者に扶養されている子。)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>30 年度(実績)</th> <th>31 年度(実績)</th> <th>2 年度(実績)</th> <th>3 年度(実績)</th> <th>4 年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 受給資格世帯数</td> <td>世帯</td> <td>654</td> <td>633</td> <td>639</td> <td>622</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>イ 助成対象者数</td> <td>人</td> <td>1,606</td> <td>1,595</td> <td>1,587</td> <td>1,547</td> <td>1,580</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)	ア 受給資格世帯数	世帯	654	633	639	622	630	イ 助成対象者数	人	1,606	1,595	1,587	1,547	1,580	ウ							エ							オ						
名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)																																												
ア 受給資格世帯数	世帯	654	633	639	622	630																																												
イ 助成対象者数	人	1,606	1,595	1,587	1,547	1,580																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移																																																
ひとり親家庭の親と子に対し、医療費の一部を助成し、対象者が適切な医療を安心して受けられるようにする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>30 年度(実績)</th> <th>31 年度(実績)</th> <th>2 年度(実績)</th> <th>3 年度(実績)</th> <th>4 年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 利用世帯数</td> <td>世帯</td> <td>397</td> <td>406</td> <td>384</td> <td>370</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)	ア 利用世帯数	世帯	397	406	384	370	390	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)																																												
ア 利用世帯数	世帯	397	406	384	370	390																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)																																											
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0																																										
		県支出金	千円	7,723	7,642	7,431	7,819	7,631																																										
		地方債	千円	0	0	0	0	0																																										
		その他	千円	0	0	0	0	0																																										
		一般財源	千円	7,805	7,716	7,423	9,367	8,169																																										
事業費計 (A)		千円	15,528	15,358	14,854	17,186	15,800																																											

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 次代を担う児童に対し、心身ともに健全な児童を育成することは子育て支援を推進することであり、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 県の実施要綱に基づき実施している事業なので適切である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) ひとり親家庭の該当者全員を対象としている為、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 令和3年度に、子ども・子育て支援プラン（令和2～6年度）により、課題となっていた支援内容の拡充を行い、自己負担分500円を廃止した。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名： ） <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名： ） <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 県の実施要綱に基づき実施しているので、削減はできない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							